

高齢者の主張

此花区

高見白寿会 奥田洋

題名 『 79歳、今年大学一年生 』

歌手の 橋 幸夫 が今年大学に入学しました。集まると年齢や体調の話ばかりをする人がいます。人は年齢に関係なく病気や死を迎えます。科学・技術は進歩し受け継がれて発展して行きますが残念ながら人はその人一代で培った心と思いの全てを引継ぐ事が出来ません。21世紀になっても侵略戦争を臆面もなくやります。どの国も一発、一台何億円もするミサイルや攻撃機の人々の心まで破壊する兵器代を産業開発、国民の福祉の為に使えば自然の脅威にも打ち勝つ豊かな社会が出来るのにと何時も思う。

私は今、輪行できる自転車で仲間と（平均年齢73歳）富士五湖、宍道湖、長良川と走っています。この夏には軽井沢へと計画しています。谷垣禎一さん（自転車事故）の例があるので十分に気を付けて。

昨年度迄区の子供会のお世話をさせて頂いていました。模範となるような行いは出来ないが次の世代が背中を見て真似てもらえるような生き方が出来ればと。上島竜兵のように人を楽しませる優れた才能がある人が何故？人それぞれに環境が違いますが人に応じた出来る事が必ず有ります挑戦しましょう。

（例えば、何も無いが時間がある人、小学生の登下校時の見守り隊に）
3 感を胸に。感心（興味を持つ）感動（前向きに捉える）感謝（有難うを口にする）

どの道にも長けた人がいます。始めるのに遅いことはありません。高見白寿会や区社会福祉協議会でも色んな講習会や同好会をやっていきます。訪ねて見て下さい。